

法

60

奥羽鐵道の急設を要する理由

301114-000-5

法-60

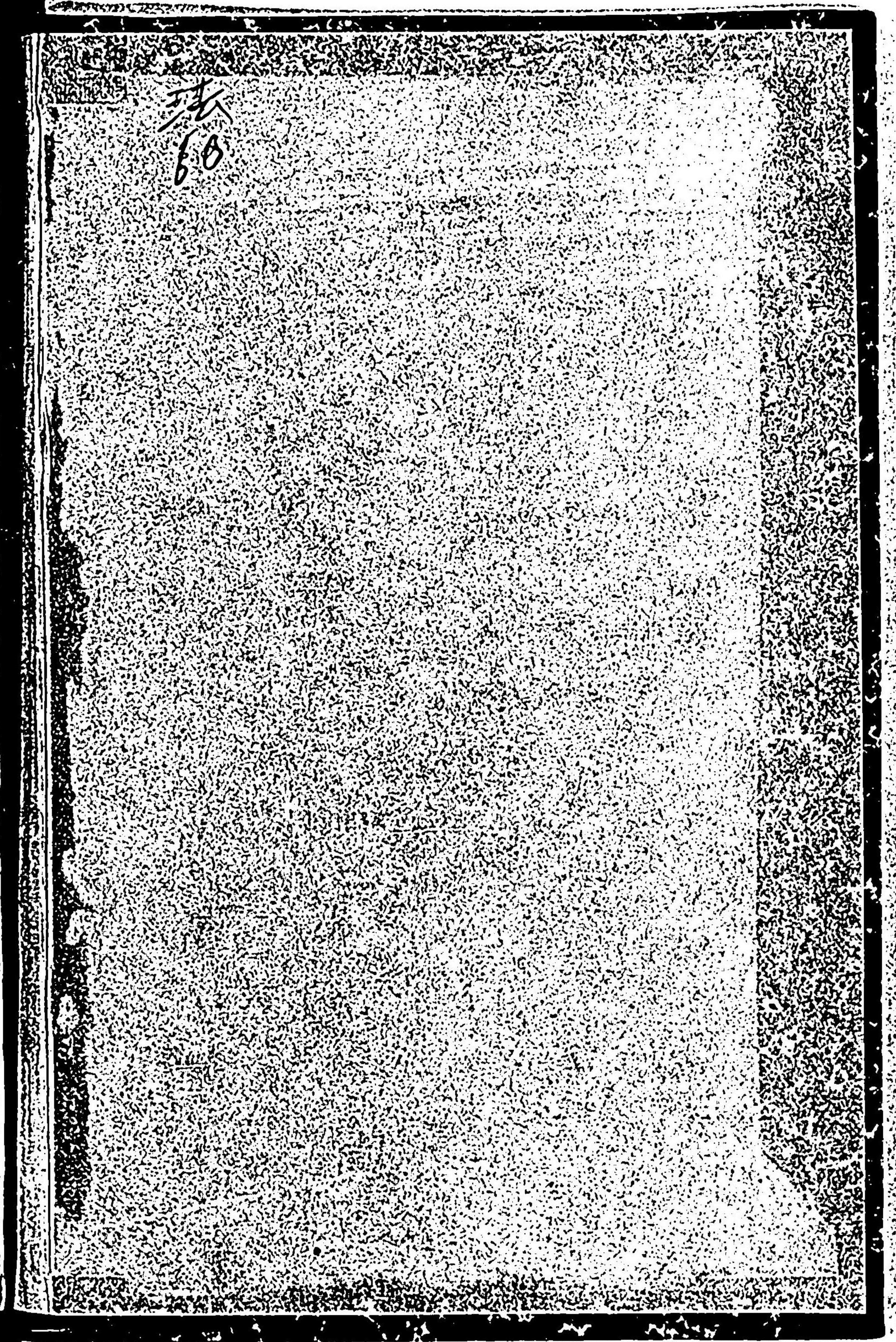
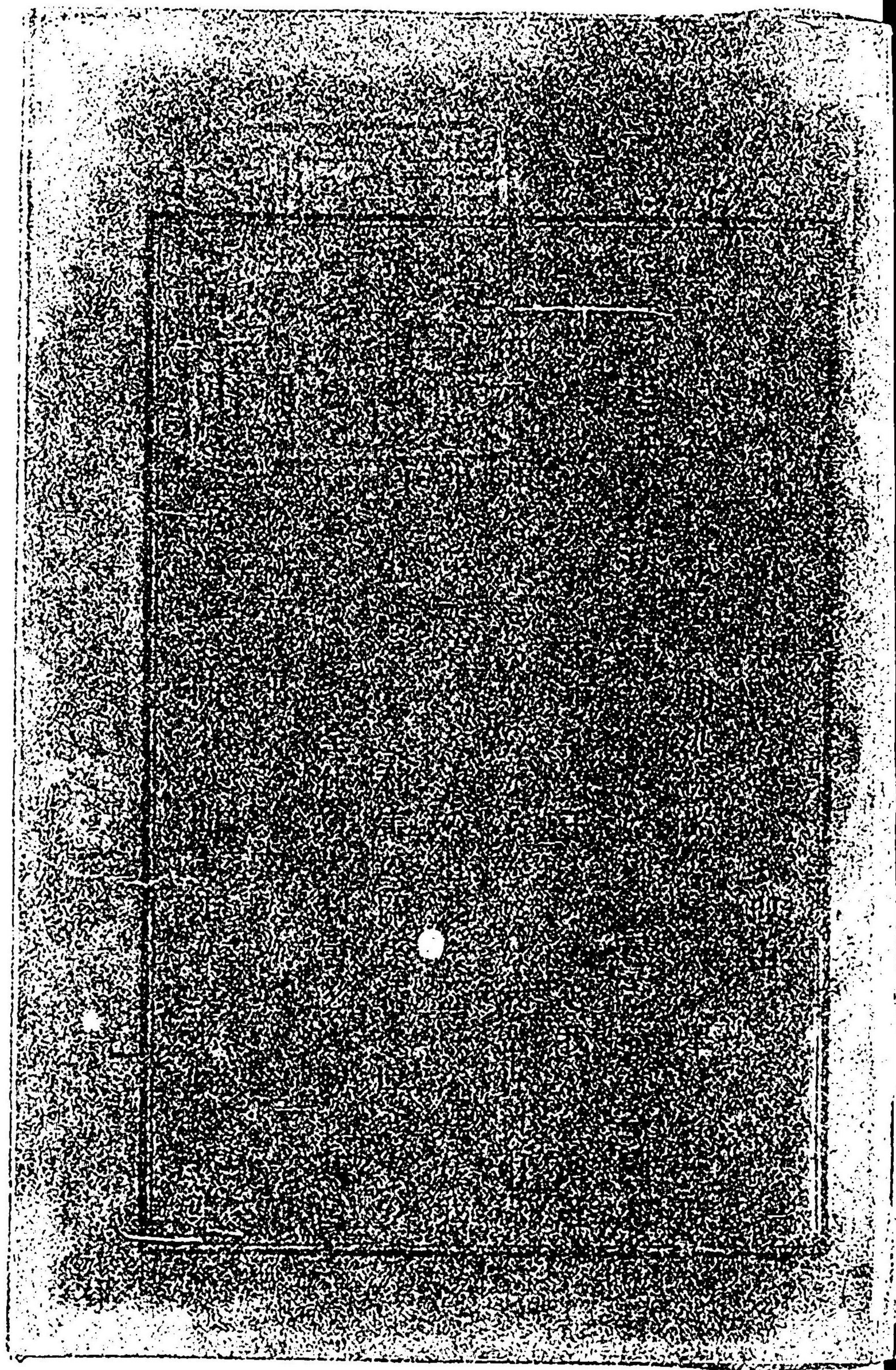
奥羽鐵道の急設を要する理由

奥羽鐵道委員

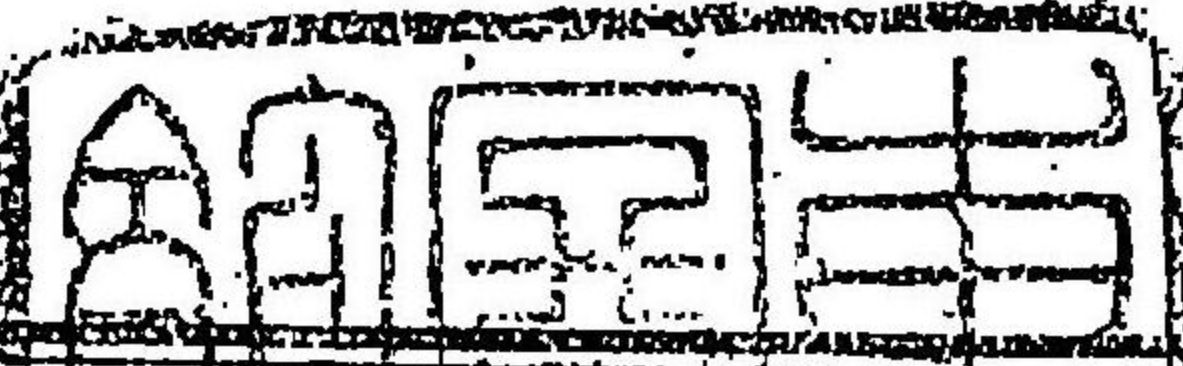
M26.1

CDF-0003

11 11 11 11 11 11



1915/10/10



●奥羽鐵道の急設を要する理由

鐵道布設法の所謂第一期九線路なるもの舉げて  
 に之を起工し竣功し得べくんは則ち己む。苟も全國九  
 線路を舉げて齊しく工事し着手すること我か經濟社  
 會の現況と相容れざるものならんには我輩は奥羽線  
 路を以て工事の第一着とあすの必要を痛感す。是れ我  
 輩の奥羽を以て郷國となし、利害の關係特に厚きもの  
 あるが爲め、あらず國家全体の大利害を達觀し、其昌  
 進を希圖するの誠意に出づるものなり。

東山道山脈 逶迤として陸羽の間を走り、奥羽實に其西



二  
ま在り。故に重峯複嶺の運輸交通を阻隔するもの、東境を最とすと雖も、其の北境南境に於ける、又峻山屏立として道路の險惡、殆んど東境に譲らざるものあり。而して西方一面海に沈むこと百五十餘里ま及ふと雖とも、巨船大船の纜を繋ぐへき良港に乏しく加ふるま風濤常ま岸を噛み、特に冬期に於て殆んど一片の帆影を見ざるに至る。已に陸運の便に乏しく且つ舟行の利を欠くもの、全國八十餘州未だ曾て奥羽の如きはあらざ。土地廣大ならざるにあらず、地味肥沃ならざるにあらず、農桑利あらざるにあらず、山林斧を入るへきもの多く、山

を鑄海を煮るの利亦乏しきを憂へず。而して人口稠密ならず、生計毀富ならず、空しく天然の富源を遺却するものは蓋し運輸交通の便を欠くもの、其主因たらずんはあらず。是れ我輩が國家の大計に徴して、奥羽線路の急設を要する所以の一なり。

名けて蜻蜒洲と云ふ、我國の地勢に於て、經濟上軍事上一條の縦貫線を欠くへからざるの理由茲ま存す。然れども東山道山脈の陸羽を裁斷するものあるか故に、此線路は未だ何等の影響を奥羽及び陸奥の西部に及ぼさざるものなり。是れ日本鐵道會社の利ま於て、我輩の

與からざる所ろなり。且つ夫日本鉄道會社の線路は世の稱して縦貫線と爲す所ろなりと雖とも、福島以北は海岸に接し、戰時敵軍の容易に乗する所ろとかりて、我軍の所謂る集合運動を遮斷せらるゝの虞あり。是れ國家の大計に徴して、奥羽線路の急設を要する所以の第一なり。

我國の地勢は之を歐洲列國と同一視すへからず、彼れに在りては敵の襲來豫しめ方ありと雖とも、我れに於ては四面海を環らむ、八十餘州何れの所ろか人の鼯眊を容れさるん、而して世界の氣勢より觀察するとき、

今後列國の争地は日本海の外に出でざるへく、即ち警備の最も欠くへからざるは、北海道及び我が奥羽の間にあり。日本鉄道果して福島以北に於て縦貫線たるの用を擧ぐる能はずんば、何を以てか我が奥羽と北海道を守らん。已に奥羽北海道に守りなむ。天下何人が能く安眠するものぞ。是れ國家の大計に徴して、奥羽鐵道の急設を要する所以の三なり。

若し夫れ已に鐵道の便あり、是に於てか人文開け物産興る。是れ海運水利の必要を感ずるの時なり。奥羽の地、良港乏しと雖とも、資を投して人工を加ふるときは、巨

船大船數艘を繋ぐの港灣なきはあらず。己は海運水利の便あり、北陸及び奥羽の北海道に於ける貿易之れより益々盛隆し、西比利亞地方、朝鮮、北部支那の海外貿易亦將さに起ふんとす。是れ國家の大計に徴して、奥羽鐵道の急設を要する所以の四なり。嗚呼此四者あり、誰れが奥羽鐵道を以て國家燒眉の急務とせざるもの。若し夫れ其の理由の詳細なるものは至りて、之を事實に徴し統計を舉げて、別に論するあらんとす。

明治廿六年一月

奥羽鐵道委員

12/34

明治廿六年一月十六日印刷

全 年一月十七日出版

(非賣品)

著者兼  
發行者

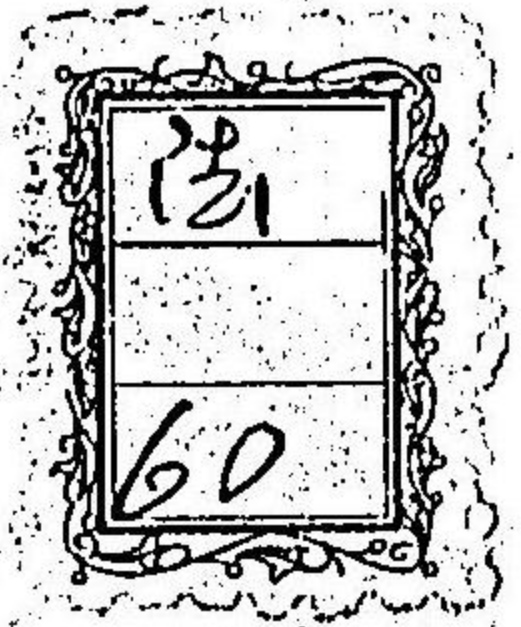
田口榮吉

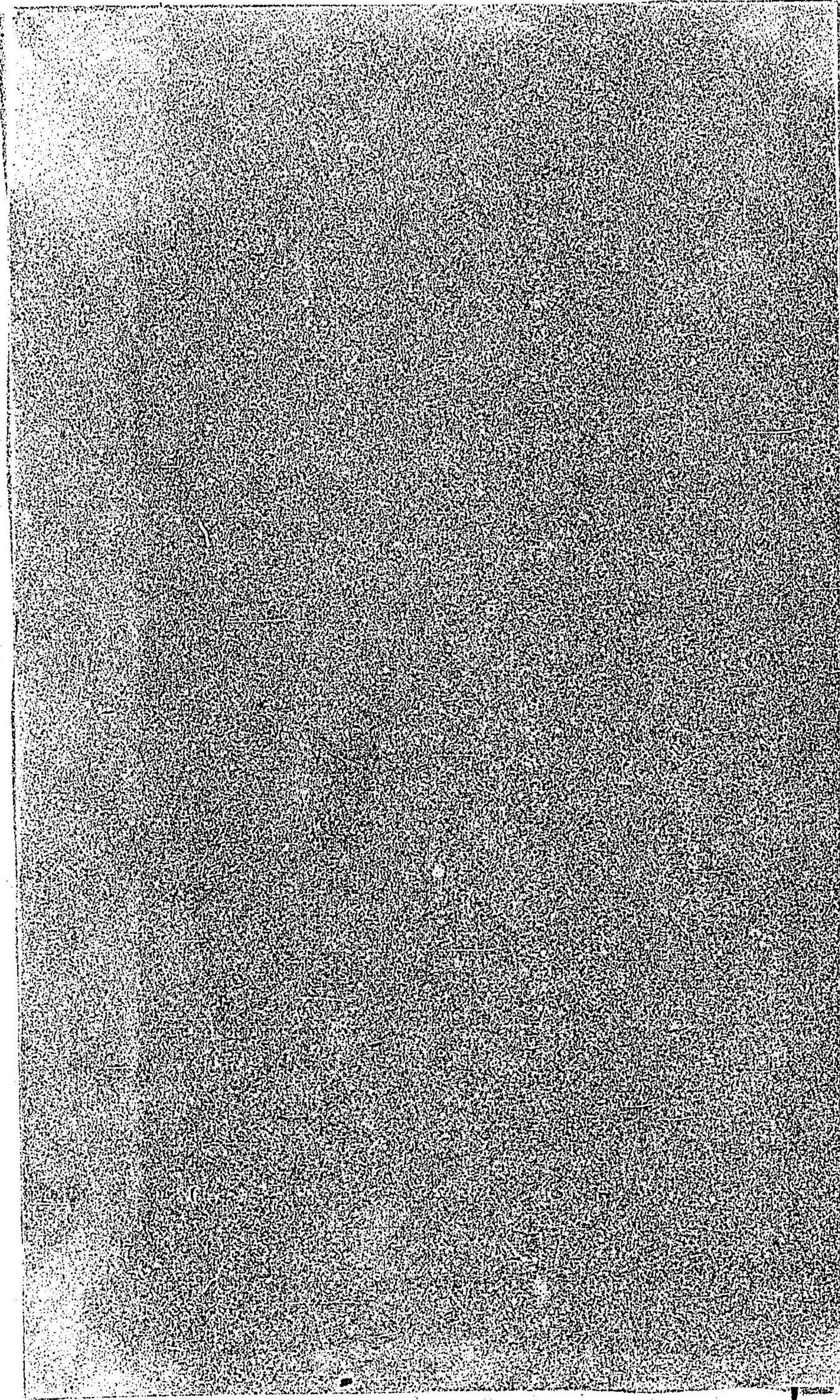
秋田縣仙北郡大曲町大曲四百十五番地

印刷者

木元由太郎

東京市日本橋區築地町三十三番地





民國廿六年六月出版

第一頁

第一頁

第一頁

第一頁

第一頁

第一頁

第一頁

第一頁

法

60



